企業に未来基準の元気を！

2016年6月6日

プレスリリース
報道関係各位

株式会社 アドバンテッジ リスク マネジメント
代表取締役社長　鳥越　慎二
（JASDAQ　コード 8769）

西部ガスへのストレスチェックサービス導入が決定

～セルフケアの充実、質問項目の幅広さが評価ポイントに～

株式会社アドバンテッジ リスク マネジメント（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：鳥越 慎二、以下「当社」）は、西部ガス株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：酒見 俊夫、以下「西部ガス」）に、当社が提供するストレスチェック義務化に対応したメンタルサポートプログラム「アドバンテッジ タフネス」の導入が決定したことをお知らせします。

都市ガス大手の西部ガスは、九州北部の主要都市を主なエリアとして事業を展開しています。同社は、かねてよりワークライフバランスの実現やダイバーシティの推進のために取り組んでおり、従業員の働きやすい環境づくりに努めています。

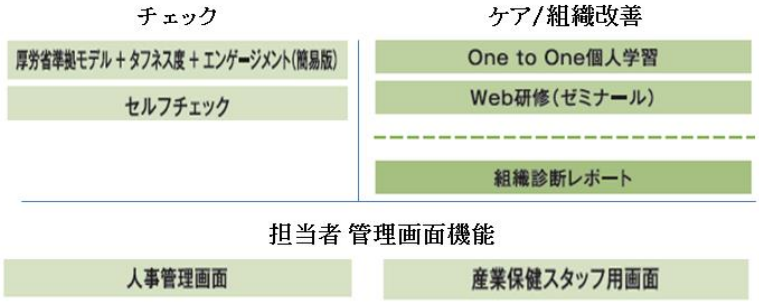
このたび西部ガスは、ストレスチェック義務化に際し、当社の「アドバンテッジ タフネス」の『スタンダードチェック』プランの導入を決定いたしました。選定にあたり、e ラーニングなどセルフケアに関する充実したコンテンツへの評価、および厚生労働省が示す3要素である「ストレス要因」「ストレス反応」「周囲からのサポート」にとどまらず、「個人のストレス対処（＝タフネス度）」と、「仕事への熱意度（＝エンゲージメント）」を取り入れた幅広い質問項目が、多面的な切り口で分析をしたい同社ニーズに合致しました。また、個人結果や組織分析レポートの見やすさ、わかりやすさも評価されました。

同社では、従業員約1,400名に対し、今年7月にストレスチェックを実施する予定です。

■西部ガス 担当者のコメント（人事労政部 人事サービス室 熊丸様）

ストレスチェックによって「個人の活性」を促進し、こころの健康づくりに対する会社の取り組みを強化します。
また、豊富な実績とノウハウによる幅広い切り口からの組織分析を元に、活力ある生産性の高い組織づくりに活かしていきたいと思います。

【アドバンテッジ タフネス」『スタンダード チェック』プラン概要】
厚生労働省が示す3要素を含んだ「準拠モデル」に「タフネス度」や「エンゲージメント」を付加。
その後のケアや組織改善を含めたサービスをパッケージで提供。



【お問い合わせ先】

株式会社 アドバンテッジ リスク マネジメント　http://www.armg.jp
（取材・広報に関して）　経営企画部 ： 小林 幸子／清水 裕次　TEL：03-5794-3890
（サービス内容に関して）　事業企画部 ： 長 紘子　TEL：03-5794-3830